

# エコアクション21

## 環境経営レポート

【 実施期間 : 2024年8月21日～2025年8月20日 】

2025 年 11 月 11 日 発行

2026 年 1 月 27 日 改訂

株式会社 新栄設備工業

## 【目次】

表紙	.....	P. 1
目次	.....	P. 2
1. 組織の概要	.....	P. 3
2. 対象範囲	.....	P. 3
3. 実施体制組織図	.....	P. 4
4. 環境経営方針	.....	P. 5
5. 環境経営目標 3ヶ年計画	.....	P. 6
6. 環境経営計画	.....	P. 7
7. 環境経営目標2025年実績(本社)	.....	P. 8
8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	.....	P. 10
9. 環境関連法規制等一覧表	.....	P. 11
10. 代表者による全体評価と見直し・指示	.....	P. 12

# 1. 組織の概要

- 1) 事業所名及び代表者氏名  
株式会社新栄設備工業  
代表取締役 中庭 雅彦
- 2) 所在地  
(本 社) 〒310-0841  
茨城県水戸市酒門町4814-1  
  
(けやき台工場) 〒310-0842  
茨城県水戸市けやき台3-42-1
- 3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
・ 環境管理責任者 : 管理部 部長 藤家 麻美  
・ 担当者連絡先 : 管理部 部長 藤家 麻美  
TEL : 029-246-0048  
FAX : 029-246-0052  
E-mail : a.fujie@shinei.jp

## 4) 建設業許可の内容

### 【許可番号】

・茨城県知事(特-02)第27293号

・茨城県知事(般-02)第27293号

### 【許可業種】

管工事、土木工事業、とび・土工工事業  
水道施設工事業、石工事業、舗装工事業  
鋼構造物工事業、解体工事業

電気工事業、建築工事業  
機械器具設置工事業

## 5) 第一種フロン類充填回収業者登録番号

- ・ 茨城県 【登録番号】 茨 第10037号
- ・ 栃木県 【登録番号】 栃木県 第1-962号

## 6) 事業規模

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
売上高	百万円	1,623百万円	1,911百万円	1,627百万円	1,867百万円	1,676百万円	2,075百万円
従業員数	人	31人	30人	31人	32人	34人	38人
本社	床面積	m <sup>2</sup>	980m <sup>2</sup>	980m <sup>2</sup>	980m <sup>2</sup>	980m <sup>2</sup>	980m <sup>2</sup>
	敷地面積	m <sup>2</sup>	1,956m <sup>2</sup>	1,956m <sup>2</sup>	1,956m <sup>2</sup>	1,956m <sup>2</sup>	1,956m <sup>2</sup>
けやき台工場	床面積	m <sup>2</sup>				1,618m <sup>2</sup>	1,618m <sup>2</sup>
	敷地面積	m <sup>2</sup>				8,016m <sup>2</sup>	8,016m <sup>2</sup>

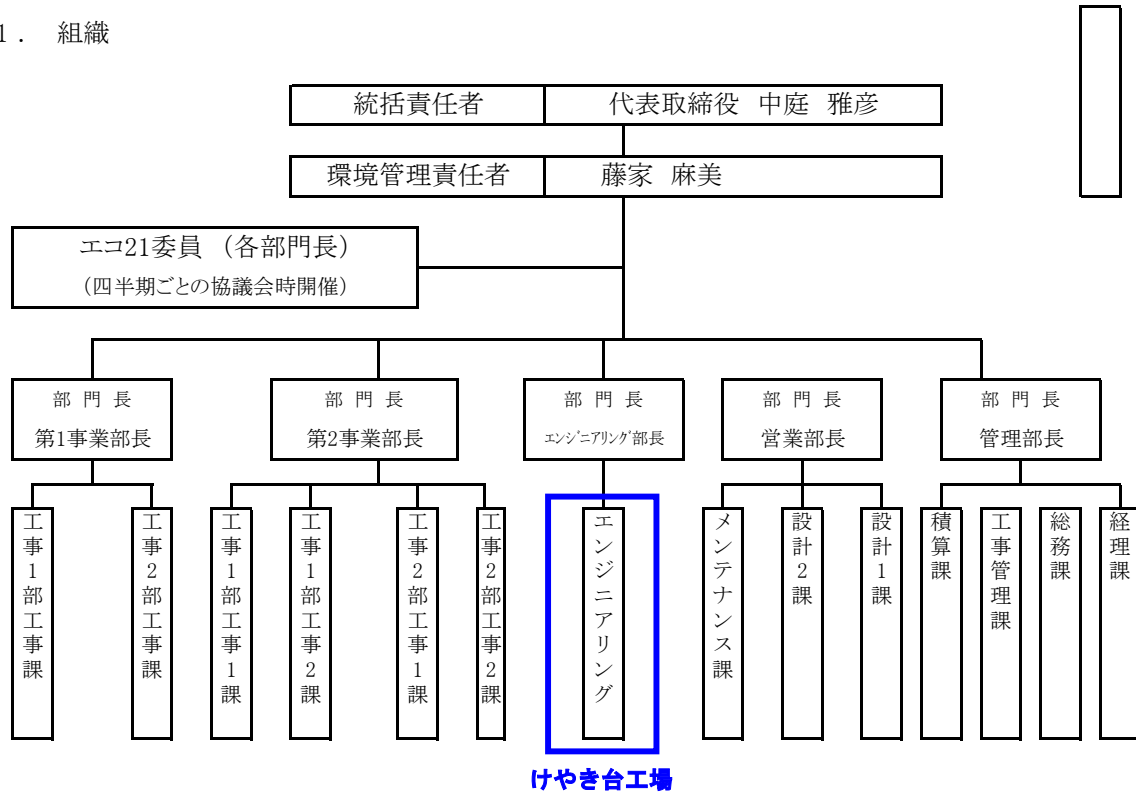
# 2. 対象範囲

## 1) 認証・登録範囲

対象範囲 : 本社・けやき台工場

### 3. 実施体制組織図

#### 1. 組織



#### 2. 責任と権限

役割・責任・権限	
統括責任者	環境経営方針を定め、環境方針を全社員に周知させる 環境経営方針を実現するための組織を構築する 環境管理責任者を任命する 環境経営目標・実績を審査し、承認する 環境経営システム全体の評価と見直しを実施する
環境管理責任者	環境経営システムを構築・運用・維持させる責任と権限をもつ 環境経営システムの実施状況及び改善の必要性を適宜 統括責任者に報告する 全社員への教育を実施する
エコ21委員会	環境活動全般の推進 実績集計の取り纏め
部門長	各部門に適用される法的要求事項の遵守 各部門からの環境活動結果・報告を取り纏め、環境管理責任者に報告する 各部門の問題点の発見、是正、予防処置
全社員	環境経営方針を理解し、積極的に取り組む

## 4. 環境経営方針

### 経営理念

1. 従業員・お取引様・お客様に尽くし、地域・社会の進歩発展に貢献する
  - I. 使命  
終身雇用を通じて社会的責任を果たす
  - II. 目標  
従業員・お取引様の成長を支援できる組織となり、会社の永続を目指す
  - III. 行動指針  
常にお客様の目線で考え、積極的に行動を起こす
2. 協力会社の社員が意欲をもって働けるような労働環境の形成をサポートする
  - I. 表彰  
毎年、優秀な協力会社、優秀な協力会社従業員の表彰を行う
  - II. 労働災害ゼロに向けた労働衛生管理への取組み強化  
毎年開催している安全衛生大会への協力会社の参加社数を増やし、より強固な関係構築に努め、ともに安全・品質向上を目指す

株式会社新栄設備工業は、この経営理念を基に、地域・社会の進歩発展に貢献しながら地球環境の保全が人類共通の重要課題との認識に立ち、自主的・積極的に環境保全活動に取り組めます。

### 行動指針

1. 次の事項を重点項目として取り組みます。
  - ① 電力・燃料等のエネルギーの省エネを推進し、二酸化炭素排出量を削減します
  - ② 分別の徹底、リサイクル推進に努め、産業廃棄物排出量を削減します
  - ③ 工事施工におけるプレハブ化・フレア化を図り、環境負荷低減に努めます
  - ④ 技術的工夫で化学物質使用量の削減に努めます
  - ⑤ 上水道の使用量削減に努めます
2. 環境関連法規制を遵守します。
3. 環境への取り組みを環境経営レポートとして取りまとめ、お取引様・お客様へ公表します。
4. 全従業員に環境経営方針を周知します。
5. 環境経営活動の継続的改善に努めます。

制定日：2010年11月20日

第3回改訂日：2024年 1月30日

代表取締役 中庭 雅彦

## 5. 環境経営目標3ヶ年計画

原単位の基本	2022年～2024年度 平均売上高	1,723 百万円
--------	-----------------------	-----------

	項目	目標種別	単位	基準値	目標値			推進担当者	
				2022～2024年度 平均実績値	2025年度 -1%	2026年度 -2%	2027年度 -3%		
1	二酸化炭素 排出量削減	事務所 電力	原単位	kWh/ 百万円	15.83	15.67	15.51	15.35	藤家
2-1		工場用 電力 (本 社)	原単位	kWh/ 百万円	8.20	8.11	8.03	7.95	藤家
2-2		工場用 電力 (けやき台)	原単位	kWh/ 百万円	22.90	22.70	22.40	22.20	藤家
3		ガソリン	原単位	L/ 百万円	24.00	23.76	23.52	23.28	藤家
4		軽 油	原単位	L/ 百万円	2.27	2.23	2.21	2.19	藤家
5		灯 油 (数値管理)	原単位	L/ 百万円	0.00	数値の 管理のみ	数値の 管理のみ	数値の 管理のみ	藤家
6		CO <sub>2</sub>	原単位	kg-CO <sub>2</sub> / 百万円	75.77	74.15	73.40	72.65	藤家
7-1	産業廃棄物処理量削減(本社)		原単位	kg/ 百万円	2.17	2.13	2.11	2.09	藤家
7-2	産業廃棄物処理量削減(けやき台)		原単位	kg/ 百万円	0.20	0.19	0.19	0.19	藤家
8-1	一般廃棄物処理量削減(本社)		原単位	kg/ 百万円	1.88	1.87	1.85	1.83	藤家
8-2	一般廃棄物処理量削減(けやき台)		原単位	kg/ 百万円	0.03	0.28	0.23	0.20	藤家
9	製品の環境負荷低減 (配管加工のフレア化、フレア化)		総 量	件	24	25 (+ 1件)	26 (+ 2件)	27 (+ 3件)	藤家
10	化学物質使用削減 (PRTR含有量の数値管理)		総 量	kg	22.51	数値の 管理のみ	数値の 管理のみ	数値の 管理のみ	藤家
11-1	上下水道の節水(本社) (数値管理)		総 量	m <sup>3</sup>	193.3	数値の 管理のみ	数値の 管理のみ	数値の 管理のみ	藤家
11-2	上下水道の節水(けやき台) (数値管理)		総 量	m <sup>3</sup>	58.00	数値の 管理のみ	数値の 管理のみ	数値の 管理のみ	藤家
12	工事災害ゼロ		総 量	件	工事災害ゼロ	各部毎月1回 (是正管理)	各部毎月1回 (是正管理)	工事災害ゼロ	藤家

※1 当社は、専門工事業者として工事に携わるため、工事現場で使用した電力等は元請業者に属します。

※2 電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、東京電力エネルギーパートナーの2023年度:0.408kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用します。

## 6. 環境経営計画

当社の事業活動における環境への負荷を低減するために、以下の通りの活動を実施している。  
その達成状況や活動の実施状況を環境管理責任者が指導・教育しております。

	実施項目		環境活動、削減手段	関係部署	推進担当者
1	二酸化炭素 排出量削減	事務所 電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷房設定を推奨温度28℃に対して2℃低い26℃、暖房設定を推奨温度20℃に対して4℃高い24℃に設定</li> <li>業務の山崩しを行い、照明の使用時間を短縮</li> <li>会議室等の不使用時の消灯</li> <li>昼休み時の全エリアの消灯</li> </ul>	全部門	藤家
2		工場用 電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業場内の不使用場所の消灯</li> <li>機械の点検・修理を行い、正常に使用できる状態を維持</li> <li>エアリークの点検・修理を行い、機械の誤作動をなくす</li> <li>昼休み時の消灯</li> </ul>	工事部	藤家
3		ガソリン 軽油	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドライブレコーダーを使用した安全運転教育実施</li> <li>運転日報の提出</li> <li>アイドリングストップの徹底</li> <li>タイヤ圧・エンジンオイルは適正に管理する</li> </ul>	全部門	藤家
4		灯油	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内温度の管理</li> <li>重ね着などの服装の工夫</li> </ul>	工事部	藤家
5	産業廃棄物処理量削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物の分別を徹底する</li> <li>手直しゼロにする</li> <li>再生資源化を促進する</li> </ul>	全部門	藤家
6	一般廃棄物処理量削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>両面コピー、裏紙再利用によるコピー用紙の使用量削減</li> <li>データ媒体への順次移行</li> </ul>	全部門	藤家
7	製品の環境負荷低減		<ul style="list-style-type: none"> <li>工事における発生材の分別徹底、再生資源利用の促進</li> <li>工事現場での環境負荷を今よりも低減できるよう、プレハブ化・フレア化を顧客へ提案する</li> </ul>	全部門	藤家
8	化学物質使用量削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>技術的工夫で使用量を減らす</li> <li>オゾン層破壊の無い化学物質使用機器を顧客へ提案、推奨する</li> </ul>	工事部	藤家
9	上水道の節水		<ul style="list-style-type: none"> <li>散水ノズル付のホースを用いるなどの節水工夫</li> </ul>	全部門	藤家
10	工事災害ゼロ		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月1回以上の安全品質パトロールの実施</li> <li>現場で発生した是正管理</li> </ul>	管理部	藤家

## 7-1. 環境経営目標2025年度実績(本社)

原単位の基本	2022年～2024年度平均売上高	1,723 百万円
	2025年度売上高	2,075 百万円

項目	目標種別	単位	基準値	2025年度				推進担当者	
			2022年度～2024年度平均実績値	目標値	実績値	達成率	判定		
1	事務所電力	総量	kWh	27,174.0	-	21,557.0		○	藤家
		原単位	kWh/百万円	15.83	15.68 (-1%)	10.40	150.8%		
2-1	工場用電力(本社)	総量	kWh	14,023.0	-	10,910.0		○	藤家
		原単位	kWh/百万円	8.20	8.12 (-1%)	5.30	153.2%		
2-2	工場用電力(けやき台)	総量	kWh	38,311.0	-	57,875.0	数値の管理のみ	-	藤家
		原単位	kWh/百万円	22.20	21.98 (-1%)	27.90			
3	二酸化炭素排出量削減	総量	L	41,038.0	-	44,145.0	113.1%	○	藤家
		原単位	L/百万円	24.00	23.76 (-1%)	21.00			
4	軽油	総量	L	3,818.7	-	4,295.8	106.7%	○	藤家
		原単位	L/百万円	2.27	2.24 (-1%)	2.10			
5	灯油(数値管理)	総量	L	0.00	数値の管理のみ	0.00	数値の管理のみ	-	藤家
		原単位	L/百万円	0.00		0.00			
6	CO <sub>2</sub>	総量	kg-CO <sub>2</sub>	130,151.9	-	154,568.7	100.7%	○	藤家
		原単位	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	75.77	75.01 (-1%)	74.50			
7-1	産業廃棄物処理量削減(本社)	総量	kg	3,641.7	-	671.0	693.3%	○	藤家
		原単位	kg/百万円	2.10	2.08 (-1%)	0.30			
7-2	産業廃棄物処理量削減(けやき台)	総量	kg	380.0	-	120.0	数値の管理のみ	-	藤家
		原単位	kg/百万円	2.80	2.77 (-1%)	0.10			
8	一般廃棄物処理量削減(本社)	総量	kg	3,246.7	-	5,070.0	78.3%	×	藤家
		原単位	kg/百万円	1.90	1.88 (-1%)	2.40			
9	製品の環境負荷低減(配管加工のフレア化、フラ化)	総量	件	24	25 (+1件)	20	81.1%	×	藤家
10	化学物質使用量削減(PRTR含有量の数値管理)	総量	kg	22.55	数値の管理のみ	23.79	数値の管理のみ	-	藤家
11-1	上水道の節水(本社)(数値管理)	総量	m <sup>3</sup>	193.30	数値の管理のみ	187.0	数値の管理のみ	-	藤家
11-2	上下水道の節水(けやき台)(数値管理)	総量	m <sup>3</sup>	58.00	-	148.0	数値の管理のみ	-	藤家
12	工事災害ゼロ	総量	件	工事災害ゼロ	工事災害ゼロ	1部(45) 2部(19) 3部(14)	100.0%	○	藤家

※1 当社は、専門工事業者として工事に携わるため、工事現場で使用した電力等は元請業者に属します。

※2 電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、東京電力エナジーパートナーの2023年度:0.408kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用します。

※3 判定→ ○: 目標達成(100%)、△: 目標未達成(99～90%)、×: 目標未達成(90%未満)、-: 数値管理

※4 数値管理のみ→ やりようのないレベルの内容の項目であるため数値が増えないよう努めるとともに常に確認していきます。

## 8. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎	出来ている	△	現状維持
○	改善されてきている	×	悪化している

	実施項目	環境活動、削減手段	評価	関係部署	取組結果	次年度取組
1	事務所電力	・ 冷房設定を推奨温度28℃に対して2℃低い26℃、暖房設定を推奨温度20℃に対して4℃高い24℃に設定	◎	全部門	次年度、9月からの本社移転に伴い、電力の使用規模が大幅に変更となる。 従来の削減手段の意識は継続しながら初年度はデータ収集を行い、次年度から目標設定する。  また、灯油は3年連続で使用していないため、次年度も目標や取り組みから一旦削除してよいか検討する。	継続
		・ 業務の山崩しを行い、照明の使用時間を短縮	△			
		・ 会議室等の不使用時の消灯	◎			
		・ 昼休み時の全エリアの消灯	◎			
2	工場用電力	・ 作業場内の不使用場所の消灯	◎	工事部		継続
		・ 機械の点検・修理を行い、正常に使用できる状態を維持	◎			
		・ エアー漏れの点検・修理を行い、機械の誤作動をなくす	◎			
		・ 昼休み時の消灯	◎			
3	ガソリン軽油	・ ドライブレコーダーを使用した安全運転教育実施	◎	全部門		継続
		・ 運転日報の提出	○			
		・ アイドリングストップの徹底	△			
		・ タイヤ圧・エンジンオイルは適正に管理する	◎			
4	灯油	・ 室内温度の管理	-	全部門		削除
		・ 重ね着などの服装の工夫	-			
5	産業廃棄物処理量削減	・ 廃棄物の分別を徹底する	○	全部門	引越しに伴い、多くの産廃を排出する予定なので、引き続き分別を意識しながら継続していく。	継続
		・ 手直しゼロにする	○			
		・ 再生資源化を促進する	△			
6	一般廃棄物処理量削減	・ 両面コピー、裏紙再利用によるコピー用紙の使用量削減	○	全部門	引越しに伴い、今回は文書整理後の機密文書の処分があったため、目標を達成できなかった。	継続
		・ データ媒体への順次移行	△			
7	製品の環境負荷低減	・ 工事における発生材の分別徹底、再生資源利用の促進	○	全部門	引き続き取り組んでいく。	継続
		・ 設計改良等により、工事現場での環境負荷を今よりも低減できる	◎			
		・ よう、プレハブ化・フレア化に努める				
		・ プレハブ化により、手戻り作業をなくし、材料・電力の低減、環境負荷を低減する	○			
8	化学物質使用量削減	・ 技術的工夫で使用量を減らす	△	工事部	今後も数値管理していく。	継続
		・ オゾン層破壊の無い化学物質使用機器を顧客へ提案、推奨する	△			
9	上水道の節水	・ 散水ノズル付のホースを用いるなどの節水工夫	◎	全部門	けやき台工場については下水もある。数値管理し、次年度の目標値をたてる。	継続
10	工事災害ゼロ	・ 毎月1回以上の安全品質パトロールの実施	◎	全部門	担当部署による各現場の社内パトロールを行い、毎月実施している工事部会にて、周知・是正を行っている。	継続
		・ 現場で発生した是正管理	◎			

## 9. 環境関連法規制等一覧表

法令等の名称	適用	当社が遵守すべき内容	対象部門	評価時期	確認書類名	確認結果	確認者名
廃棄物処理法	産業廃棄物	第8条 保管場所表示 第14条 運搬・処分業者の許可証確認 運搬・処分業者との契約内容確認 第12条の3 産業廃棄物管理表（マニフェスト）の交付 保存（A, B2, D, E票） 産廃後90日以内に返送 産業廃棄物管理表交付等状況確認 （毎年6月提出）	現場毎 現場毎 現場毎 現場毎 総務課	工事毎 工事毎 契約毎 工事毎 毎年6月	表示看板 許可証 契約書 マニフェスト 交付状況報告書	○ ○ ○ ○ ○	藤家
浄化槽法	工場・事務所	●該当工事の事前申請・許可の内容確認 第8条 保守点検 第11条 定期検査	総務課	4回/年 毎年1月	4回/年 点検カード 毎年1月 結果書	○ ○	藤家
フロン排出抑制法 [充填回収業者]	フロン充填・回収	●フロン充填・回収登録の確認、記録確認 第37条 充填証明書の交付 第39, 44, 45条 回収フロン類引取義務、証明書の交付 第46条 フロン類の引渡義務 第70条 破壊証明書の回付・保存 第47条の3 フロン充填・回収量確認	現場毎 現場毎 現場毎 現場毎 現場毎 総務課	工事毎 工事毎 工事毎 工事毎 工事毎 毎年5月	許可証 管理票 管理票 管理票 管理票 報告書	○ ○ ○ ○ ○ ○	藤家
フロン排出抑制法 [管理者（中山）]	工場・事務所	第16条 定期的に簡易点検を行う（4回/年） （業務用エアコン 10台）	総務課	4回/年	簡易点検記録簿	○	藤家
化管法（P R T R法）	塗料管理庫	第14条 化学物質の購入時はSDSを必ずもらう。	現場毎	工事毎	SDS	○	藤家
労働安全衛生法	工場内塗装工程	第57条の2 化学物質のSDS等を作業現場の見やすい所に常時掲示する。	現場毎	工事毎	ファイル掲示	○	藤家
建設リサイクル法	工場・事務所	●運搬・再生資源化業者との契約内容確認 第13条 発注者へ事前に届出 第5条 廃棄物の抑制及び再生資源の利用 第16条 再資源化等の促進 運搬・再生資源化業者との契約内容確認	総務課 現場毎 現場毎 現場毎	工事毎 工事毎 工事毎 工事毎	契約書 契約書 契約書 契約書	該当無し 該当無し 該当無し 該当無し	藤家
騒音規制法	工場・事務所	●該当工事の事前届出・規制値の遵守 第14条 特定建設作業の実施の届出	現場毎	工事毎	届出書	該当無し	藤家
振動規制法	工場・事務所	●該当工事の事前届出・規制値の遵守 第14条 特定建設作業の実施の届出	現場毎	工事毎	届出書	該当無し	藤家
大気汚染防止法	工場・事務所	第18条 該当工事の事前届出・規制値の遵守	-	-	届出書	-	藤家
水質汚濁防止法	工場・事務所	第14条の4 該当工事の事前届出・規制値の遵守	-	-	届出書	-	藤家
水道法	工場・事務所	●該当工事の事前申請・許可の内容確認	現場毎	工事毎	申請書・確認書	○	藤家
下水道法	工場・事務所	●該当工事の事前申請・許可の内容確認 第11, 12条 特定施設設置の届け出、使用開始の届出	現場毎	工事毎	申請書・確認書	○	藤家
高圧ガス保安法	工場・事務所	●該当工事の事前申請・許可の内容確認 第15, 16条 貯蔵及び貯蔵所	-	-	申請書・確認書	-	藤家
省エネ法	設計業務	●該当工事の設計業務で高効率（COP） 機器の選定・推奨	-	-	設計図書	-	藤家
消防法	危険物	危険物の規制値、在庫管理	-	-	管理表・点検書	-	藤家
水戸市火災予防条例	工場	整理及び清掃を行う。みだりに火気を使用しない	-	-	-	-	藤家
環境基本法	廃棄物	産業廃棄物処理	現場毎	工事毎	管理表・業者の許可証確認	○	藤家
茨城県環境基本条例	廃棄物	産業廃棄物処理	現場毎	工事毎	管理表・業者の許可証確認	○	藤家
水戸市廃棄物の処理 適正化に関する条例	廃棄物	一般廃棄物の処理	総務課	毎年6月	管理表・業者の許可証確認	○	藤家

上記の確認書類にて、遵守されていることを確認した結果、違反はありませんでした。  
近隣からの苦情、関係当局からの法律違反に関わる指摘や訴訟はありませんでした。

2025年8月21日

環境管理責任者 藤家 麻美

## 10. 代表者による全体評価と見直し・指示

環境経営方針	継続
環境経営目標	継続（新事務所数値管理）
環境経営計画	継続
実施体制	2025.9月～新体制（組織図変更）
その他環境経営システムの要素等	継続

2項目以外の目標については達成できたが、9月1日の本社移転に伴い、次年度の産業廃棄物においては不用品の整理等で排出数値が高くなる予定である。必要な排出については無理に削減できるものではないが、その中でも引き続き分別の周知徹底を意識しながら環境活動を継続していく。

また、今回は目標達成となった電力に関しても、新事務所の規模が旧事務所よりも大きくなる。例年の目標設定値では妥当性を欠くため、移転初年度は電力等の数値管理をしながらそれを基にした目標設定をしていくこととする。

2025年 9月25日

株式会社新栄設備工業

代表取締役 中庭 雅彦